

経営協議会資料

－ 令和 5 年度予算・事業説明 －

－ 水道事業及び下水道事業の収支について －

水道事業や下水道事業は、使用者からの「水道料金」や「下水道使用料」でその経費をまかなう「独立採算制」を経営の原則としています（雨水処理負担金など一部は税金）。その会計処理は、民間企業と同じような企業会計制度が採用されており、「収入」と「支出」が「収益的収支」と「資本的収支」の二つに区分されているのが大きな特徴です。

－ 収益的収支 －

「収入」は水道料金又は下水道使用料などの事業収益で、「支出」は人件費・光熱水費・修繕費・減価償却費・支払利息などの事業費用で構成されています。その収支の差引がいわゆる「黒字」、「赤字」と言われるもので、黒字の場合、その利益は企業内部の補てん財源となり、将来の資本的支出のために使われます。また、減価償却費などは現金を支出しないため、その費用に充てた水道料金や下水道使用料などの現金収入も企業内部の補てん財源となり、資本的支出で使われます。

－ 資本的収支 －

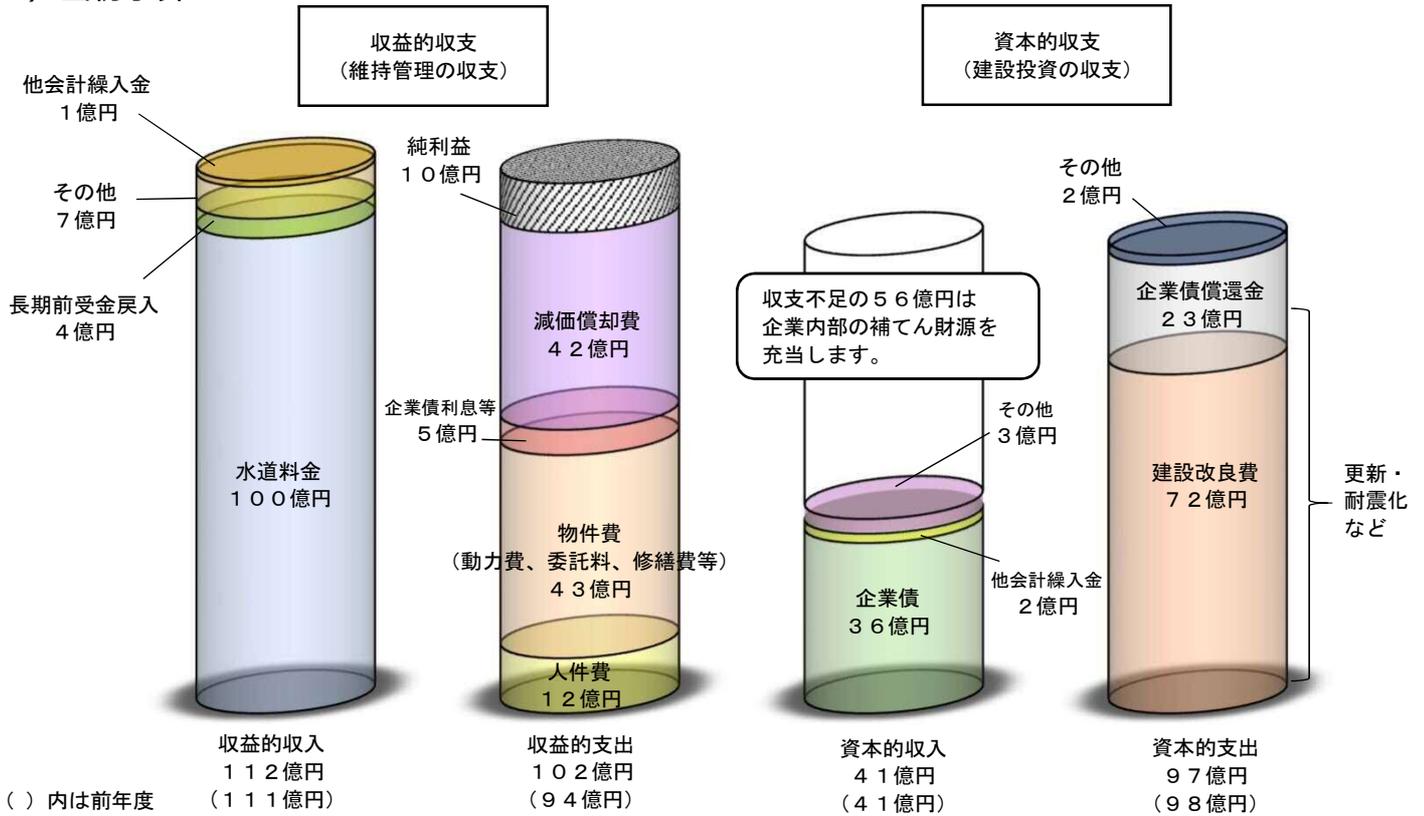
建設改良（新設、老朽化対策、浸水対策など）や企業債（借入金）の償還などの「支出」と、その財源となる国庫補助金や企業債の借入れなどの「収入」により構成されています。企業債に頼りすぎると、将来の返済額が重い負担になります。通常、資本的収支は支出が収入を上回るため、その不足分は収益的収支によって生み出された企業内部の補てん財源を充当します。



上下水道局 令和5年度予算の概要・主な実施事業

1 水道事業

(1) 当初予算



(2) 前年度との比較

(単位: 百万円)

項目	R5 ①	R4 ②	①-②
	水道料金	10,033	10,059
長期前受金戻入 (特別利益含む)	411	461	▲ 50
その他収入	672	462	210
他会計繰入金 (一般会計)	145	114	31
収入計	11,261	11,096	165
人件費	1,155	1,123	32
物件費	4,288	3,920	368
減価償却費	4,174	3,703	471
企業債利息等	536	594	▲ 58
その他	54	12	42
支出計	10,207	9,352	855
純利益	1,054	1,744	▲ 690

(単位: 百万円)

項目	R5 ①	R4 ②	①-②
	企業債 (借入金)	3,584	3,460
他会計繰入金 (一般会計)	198	232	▲ 34
国庫補助金	39	54	▲ 15
その他	271	340	▲ 69
収入計	4,092	4,086	6
建設改良費	7,153	7,140	13
企業債償還金	2,317	2,421	▲ 104
その他	200	201	▲ 1
支出計	9,670	9,762	▲ 92

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引額が一致しない場合があります。

上下水道局 当初予算のポイント

令和12年度（2030年度）の目指す姿

健全で強靱な上下水道を、子どもたち、孫たちの世代に引き継ぎ、現在のサービス水準を維持・向上していく、持続可能な上下水道事業の実現。

令和5年度の主な取組 水道事業

1 水道管・施設の強靱化

継続 管の減災・老朽化対策 4,704,977千円

		R2(実績)	R3(実績)	R4(見込み)	R5(予算)
延長	計画値	15.6km	23.4km	31.3km	26.0km
	実施	11.6km	18.7km	24.7km	26.9km
更新率	計画値	0.6%	0.9%	1.2%	1.0%
	実施	0.44%	0.71%	0.9%	1.0%



管の減災・老朽化対策

更新率向上に向けた取組

債務負担行為の活用 16工事 大規模発注等 19工事（前年度からの債務負担行為を含む）

【拡充】水道技術者向け市内講習会開催

これら取組により年間の発注量を平準化し、入札不調の発生を抑制します。

継続 施設の減災・老朽化対策 1,265,332千円

重要施設の減災・老朽化対策の実施

主な施設	R2	R3	R4	R5
清水谷津浄水場（老朽）				土木工事等
日本平山頂配水池外2施設（耐震・老朽）				土木工事等



日本平山頂配水池の整備

拡充 災害対応・体制の強化 486,633千円

承元寺取水口機能停止に伴う水源検討業務	30,000千円
承元寺取水口災害復旧修繕	196,000千円
承元寺取水口緊急対策修繕	30,000千円
承元寺取水口設計業務	50,000千円
承元寺取水施設等の護岸・護床本復旧工事	130,000千円
給水拠点の整備（新整備手法を活用し2ヶ所を整備）	41,880千円
組立式給水タンクの購入等	4,753千円
清水病院へのバックアップ用給水管布設	4,000千円



給水拠点の整備

給水栓のイメージ（出典：神戸市）

2 漏水対策の強化による有収率の改善

新規 新たな技術を活用した漏水対策 15,993千円

○監視型漏水調査（無線型漏水発見装置による効率的な漏水対策を実現）

継続 管・施設の漏水対策 174,099千円

○管の漏水調査・修繕（2,477km）、【新規】施設内の漏水調査・修繕（3施設）



監視型漏水調査(イメージ)

3 DXの推進、脱炭素社会の実現に向けた取組

継続 DXの推進 19,618千円【一部再掲】

○監視型漏水調査（無線型漏水発見装置による効率的な漏水対策を実現）15,993千円
○スマート水道メーターによる自動検針の導入検証実験 2,415千円 ほか

拡充 脱炭素社会の実現 171,621千円【一部再掲】

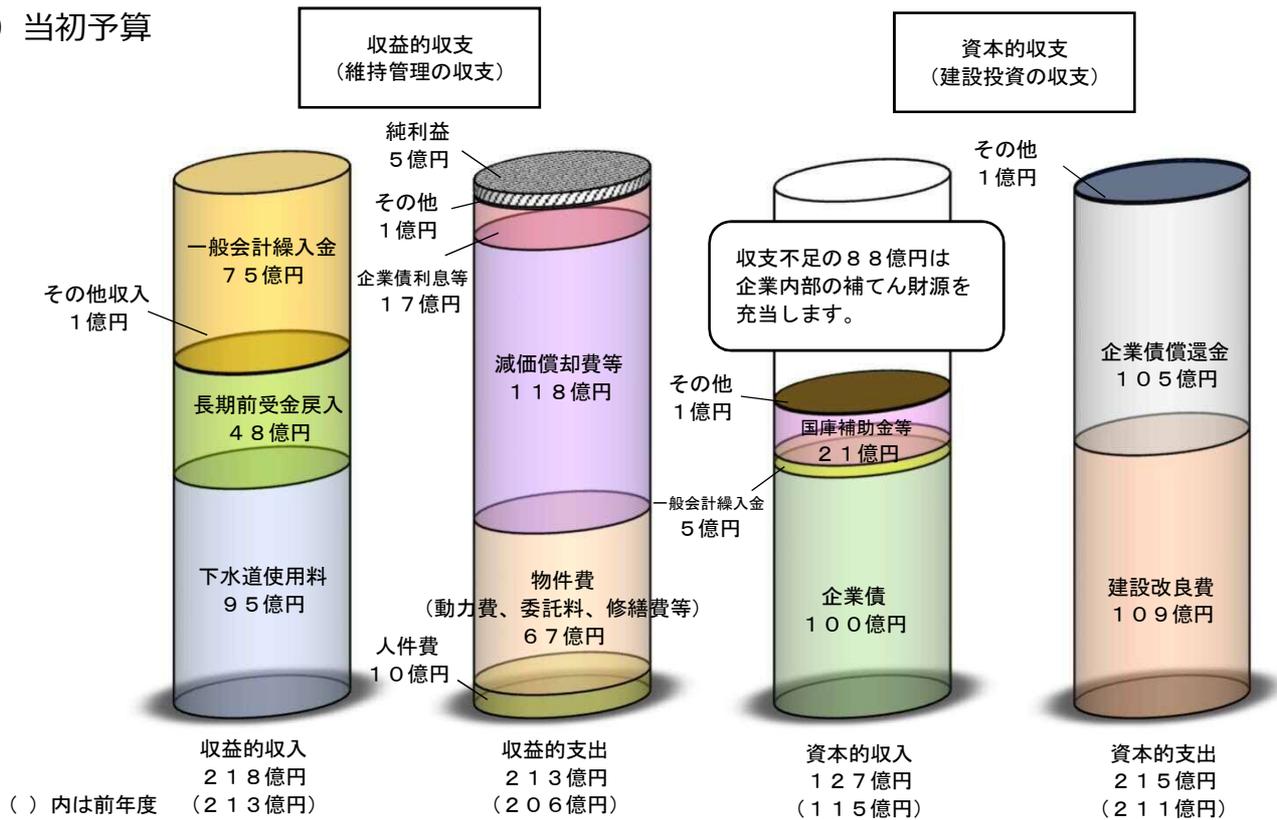
○省エネ効率の高い（CO2削減）機械設備への更新工事 136,961千円 ほか



清水谷津浄水場
汚泥掻寄機更新工事

2 下水道事業

(1) 当初予算



(2) 前年度との比較

(単位: 百万円)

項目	R5	R4	①-②
	①	②	①-②
下水道使用料	9,522	9,535	▲ 13
長期前受金戻入	4,762	4,712	50
その他収入	71	65	6
一般会計繰入金	7,480	6,974	506
収入計	21,835	21,286	549
人件費	956	978	▲ 22
物件費	6,704	5,968	736
減価償却費等	11,834	11,789	45
企業債利息等	1,699	1,797	▲ 98
その他	97	99	▲ 2
支出計	21,290	20,631	659
純利益	545	655	▲ 110

(単位: 百万円)

項目	R5	R4	①-②
	①	②	①-②
企業債	9,998	8,325	1,673
一般会計繰入金	496	569	▲ 73
国庫補助金	2,120	2,490	▲ 370
その他	68	120	▲ 52
収入計	12,682	11,504	1,178
建設改良費	10,921	9,715	1,206
企業債償還金	10,487	10,261	226
その他	100	1,100	▲ 1,000
支出計	21,508	21,076	432

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引額が一致しない場合があります。

過去の浸水被害を踏まえ、市内41地区を浸水対策地区と位置づけ、下水道部局と河川部局が連携して、浸水対策を実施しています。

1 浸水対策の推進、災害対応・体制の強化

継続 浸水対策 2,487,946千円

浸水対策推進プランに基づき、浸水対策地区において、
雨水幹線、雨水ポンプ場などの基幹施設整備を着実に実施。

- 追分二丁目地区 大沢雨水1号幹線整備 770,000千円
- 川岸町・渋川地区 渋川雨水ポンプ場整備 286,000千円

拡充 災害対応・体制の強化 70,000千円

施設整備計画を、気候変動に対応した降雨水準を目標としたものに修正し、治水安全度を向上。

- 静岡市雨水総合排水計画修正業務委託 25,000千円
- 令和4年の台風15号浸水被害発生地区において降雨時の被害を軽減する対策の立案。
- 浸水被害対策策定業務委託 15,000千円



渋川雨水ポンプ場完成予想図

下水道管の老朽化対策は、管の更新や管の内側から構造を強化する「管更生」がありますが、地震対策にもなります。

2 下水道管・施設の強靱化

継続 重要な管・施設の地震対策 1,413,616千円

緊急輸送路下や防災拠点と浄化センターを接続する等の重要な管について
管の内面を補強する管更生工事等により耐震化を実施。

- 高松処理区外 下水道管路施設耐震化工事 573,000千円
- 高松処理区 田町稲川遮集幹線耐震化工事 285,000千円

継続 管・施設の老朽化対策 4,652,131千円

アセットマネジメント手法を用い、経年劣化が原因で起こる道路陥没事故や
施設の処理機能の低下を未然に防止。

- 長田浄化センター及び下川原雨水ポンプ場 監視制御設備改築工事 694,358千円
- 城北処理区 下水道管路施設改築工事 609,900千円



耐震化施工後の管

3 水環境の保護・改善

継続 水環境の保護・改善 2,209,771千円

下水道の未普及解消のため、下水道計画区域内の整備を実施。

- 静清処理区（興津、長崎、飯田、鳥坂地区） 539,000千円
- 中島処理区（片山、服織、大谷地区） 434,000千円



汚水管の新設

4 DXの推進、脱炭素社会の実現に向けた取組

継続 DXの推進 34,712千円

- 下水道台帳システムのネット公開準備 5,632千円

継続 脱炭素社会の実現 109,700千円

- 水処理施設の統合に伴う宮加三ポンプ場の廃止に向けた管路設計委託 83,000千円